

野生動物と国際観光シンポジウムの開催案内

テーマ：野生動物と国際観光の現状と課題を考える

テーマ設定の意図

野生動物がなぜ人間の想像力を捉えている？野生動物の生活やパフォーマンスがどのように観光体験と地域作りのエージェントや要素となるか？本シンポジウムでは、野生動物と国際観光の交差点に焦点を当て、利用者体験の管理のあり方やジレンマを洗い出しながら、ワイルドライフツーリズムの機会を改めて仕分けします。

カーティン氏は人間と野生動物の共生を図るイギリスの一流研究者であり、大学教育他、コンサルタントの経験も持っているため、学問的のみならず、実業的にも役立つプレゼンを期待しており。そして、野生動物と国際観光における現状、機会とジレンマを具体的に議論するため、北海道（札幌から知床まで）や長野県のスノーモンキーからの事例を紹介し、有効な情報共有と意見交換を提供します。

日時 2017年4月9日（日曜日）13：30～17：00

会場 明治大学駿河台校舎グローバルフロント・グローバルホール

※JR「御茶ノ水」の御茶ノ水橋口から徒歩3分

（〒101-8301 千代田区神田駿河台 1-1 グローバルフロント 1階）

主催 明治大学国際連携本部

共催 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科・自然公園研究会

プログラム

13:30	開会
13:35～ 14:30	「Wildlife tourism における現状、機会とジレンマ」 カーティン スーザナ氏 (英国ボーンマス大学 マネージメント学部観光科 准教授)
14:30～ 15:00	「都市近郊林における野生動物への餌付けの実態と利用者の意識」 愛甲哲也氏 (北海道大学大学院農学研究院 准教授)
15:00～ 15:30	「奄美大島における野生動物ツーリズム：保全が持続的な観光を促進する」 久保 雄広氏 (国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 研究員)
15:30～	コーヒーブレイク
15:45～ 16:15	「地獄谷野猿公苑におけるスノーモンキー観光の現状と課題」 増尾はる子氏 (長野県通訳ガイドネット NIGN 代表・信州大学国際交流コーディネーター)
16:15～ 16:45	議論 コーディネーター 長畑誠氏 (明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 教授) ジョーンズ トマス氏 (立命館アジア太平洋大学 准教授)

※使用言語は原則として英語ですが、基調講演 PPT 資料の日本語版を配布いたします。

※プログラムは、諸事情により変更になる場合もございますので、ご了承ください。

会場地図

明治大学 駿河台校舎 グローバルフロント 1階 グローバルホール



【最寄駅からのアクセス】

- JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 下車徒歩約 3 分
- 東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩約 5 分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩約 6 分

申し込み

事前申し込みは不要ですので、自由に参加してください。

お問い合わせ先

nparkjapan@gmail.com